

2026年度《異文化コミュニケーション研究科(異文化コミュニケーション専攻)》 修士論文/課題研究提出について

提出日時(期間)		提出場所
春学期 提出	6月23日(火)9:00 ~ 6月25日(木)15:00	Canvas LMS
秋学期 提出	1月12日(火)9:00 ~ 1月13日(水)15:00	
* 最終日は、15時で締切となるので、十分に注意すること。 * 上記の提出期間を過ぎた場合、理由の如何を問わず、受理しない。		

＜注意事項＞

- | | |
|---------------|---|
| 1 提出部数 | 1部 |
| 2 提出方法 | PDF形式の1ファイルにまとめ、Canvas LMSの「修士論文・課題研究提出用コース」から提出すること。
*データの破損等について大学は一切責任を負わないので、提出の際には十分注意すること。
*提出にあたっては、 【修士論文/課題研究のWeb提出について】 の注意事項をよく確認すること。 |
| 3 形式 | ① 中表紙、日本語要旨/英語要旨、目次、本文、参考文献、付録(必要な場合のみ)の順に構成すること。
② 表紙には2026年度修士論文/報告書、論文題目、研究科専攻、学生番号、氏名を明記すること。
③ 中表紙は、2026年度修士論文/報告書、論文題目(日英両言語の題目を記すこと)、指導教員、研究科、専攻、学生番号、氏名を明記すること。 |

表紙見本

202*年度修士論文/報告書

<----論文題目---->

立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科
異文化コミュニケーション専攻博士課程前期課程

学生番号 <学生番号>
<学生氏名>

中表紙見本

202*年度修士論文/報告書

<----論文題目---->
<Title of Thesis/Report>

指導教員 <指導教員名>

立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科
異文化コミュニケーション専攻博士課程前期課程

学生番号 <学生番号>
<学生氏名>

背表紙見本(オンライン提出時は不要)

202*年度
修士論文/
報告書

学生氏名

表紙見本

Rikkyo University

<Title of Thesis/Report>

Student Number <Student No.>
<Student Name>

A Thesis
Submitted in Partial Fulfillment of the Requirements for
the Degree of Master of Arts
in Intercultural Communication

202X
Graduate School of Intercultural Communication

中表紙見本

Rikkyo University

<Title of Thesis/Report>
<----論文題目---->

Student Number <Student No.>
<Student Name>

Professor <Supervisor's Name>

A Thesis
Submitted in Partial Fulfillment of the Requirements for
the Degree of Master of Arts
in Intercultural Communication

202X
Graduate School of Intercultural Communication

背表紙見本(オンライン提出時は不要)

202X Master's Thesis/Report <student name>

*学位審査の結果、修了が認められた者は、以下の形式で1部提出すること。
提出時期および場所については、対象者に別途連絡する。

- ① 印刷は片面印刷とし、左端を綴じて左開きとする。
- ② 「色上質最厚紙」の「くるみ製本」とする。
- ③ 中表紙、日本語要旨/英語要旨、目次、本文、参考文献、付録（必要な場合のみ）の順に綴じること。
- ④ 表紙には2026年度修士論文/報告書、論文題目、研究科専攻、学生番号、氏名を明記すること。
- ⑤ 中表紙は、本文に用いた用紙を使用し、2026年度修士論文/報告書、論文題目（日英両言語の題目を記すこと）、指導教員、研究科、専攻、学生番号、氏名を明記すること。
- ⑥ 背表紙には、2026年度修士論文/報告書、氏名を入れること。

4 制作物の形式(課題研究)

課題研究において、制作物を提出する場合は、下記の方法による。
データの破損等について大学は一切責任を負わないので提出の際には十分注意すること。

- ① 作成データを一つのフォルダにいれ、zipファイルにまとめる。

5 その他形式

(使用言語、字数、サイズ、印刷等)

- ① 使用言語は、日本語、英語とする。
- ② 日本語の場合は40,000字程度、英語の場合は16,000語程度とする。
日本語で執筆した場合は日本語の要旨(2,000字以内)、英語で執筆した場合は英語の要旨(800語以内)を付ける。
- ③ ワードプロソフトを使用し(手書き不可)、A4判・横書きで作成すること。
余白： 上30mm、下20mm、左35mm、右25mm
※製本するため、左側の余白が大きいことに注意すること。
日本語： 40字 × 30行
英語： 1頁27行
- ④ フォントは10.5pt~12ptの間を原則とする。

* 審査担当教員の判断で論文の印刷を指示する場合がある。

* 修士論文/課題研究(制作物)の形式および使用言語・字数等細部の規定について不明な点がある場合は、指導教員に確認し、その指示に従うこと。

* 一度提出した修士論文/課題研究の修正は原則として認めない。

ただし、内容に関わらない技術的修正を正指導教員より求められた場合には、修正した修士論文/課題研究と正誤表を正指導教員に提出すること。詳細は研究科より指示する。なお、提出者の判断で技術的修正を行うことはできない。

6 審査手数料

- ① 3年次以上の者(在学5学期目以降の者)が修士論文/課題研究を提出する場合は、学位論文審査手数料規則第2条第2項を参照のこと。

7 学位審査 ・最終試験

- ① 修士論文/課題研究を提出した者について、修士論文指導教員・副指導教員の他、原則として3名の教員が参加して、修士学位審査・最終試験を行う。
- ② 修士学位審査・最終試験(口頭試問)は以下のとおり行う。
春学期提出： 2026年7月中旬
※詳細は2026年6月中旬に異文化コミュニケーション研究科Web掲示板に発表する。
秋学期提出： 2027年1月下旬から2月上旬
※詳細は2027年1月中旬に異文化コミュニケーション研究科Web掲示板に発表する。
- ③ 学位論文審査基準
本提出された修士論文/課題研究については、題目届の提出、中間報告会、仮提出および予備審査を経て、質・量ともに学位を与えるに足る論文または課題研究を、審査・最終試験において可とする。審査項目は以下の通りとする。
〈修士論文〉
 1. 研究テーマが明確で独創性があること。
 2. 研究内容と方法が適切であること。
 3. 論文構成が適切で、論旨展開が明瞭であること。
 4. 使用する文献資料の引証が明確で適切であること。
 5. 研究に対して倫理的配慮がされていること。
〈課題研究〉
 1. 課題研究のテーマが本研究科の領域と明確に関連したものであること。
 2. 取り組む課題について、背景と現状の理解が適切であること。
 3. 課題研究に取り組む方法が適切であること。
 4. 提出された成果物が当該研究分野の発展および改善に有効なものであること。
 5. 課題研究に対して倫理的配慮がなされていること。